

岩日ストーリー

先輩を訪ねて 第8回

日本大学法学部政治経済学科2年 牧田 優樹さん

日本大学の付属高校(中等教育学校も含め)は、北は札幌から南は宮崎まで全国に26校あります。今年度、法学部では付属高校出身者だけを集めたリーフレットを初めて作成し、オープンキャンパスや説明会などで配布しています。本校の代表として掲載された牧田さんに取材をしました。

3月9日、付属高校生対象の日本大学法学部オープンキャンパスと

同時に実施された説明会で配布されたリーフレットには、牧田優樹

さん(平成29年度卒、栃木・益子町立益子中学校出身)がモデルと



自身が掲載されたリーフレットを手にする牧田さん(東京都千代田区・日本大学法学部にて)

して登場していた。

入学当初は大好きなサッカーに没頭し、「すごく楽しかった」サッカー部には2年生まで所属し、その後は受験勉強にシフトした。高校時代を振り返り、サッカー部の活動、オーストラリア修学旅行でのファームステイやグリーン島で過ごした1日など「すべてが良い思い出です」と語ってくれた。

着実に学力を高めてきた牧田さんでも、高3の進路選択の際には

「進学先を迷っていた」法学部以外にも、経済学部や商学部を考えてが、家族や先生に相談し、自分の興味のあることが幅広く学べる法学部の政治経済学科に進学を決意した。

大学の授業や公務員講座については、「岩日の先輩が教えてくれました」。法学部に在籍する本校卒業生から懇切丁寧にアドバイスを受けるなどして不安を解消し、万全の態勢で法学部生としてのスタートを切った。齋藤康輝先生の「憲法」や、福島康仁先生の「地方自治論」では、自分の

将来に役立つような講義で、印象に残ったという。第二外国語はドイツ語を選択。自分の

知らないことばかりで学ぶことがとても楽しく、いつかドイツに行ってみたいと考えている。岩日の先輩に対しては、「今しかできないことを思い切りやってほしい」。最近一人旅をしたという友人の話や聞き「いつかアメリカかカナダに行ってみよう」と意欲を見せた。

人脈を広げようと、サークルや飲食店でのアルバイトにも挑戦し、充実したキャンパスライフを送る牧田さん。私の質問に対して、一つひとつ慎重に言葉を選びながらも、笑顔で答えてくれた。

掲載されたリーフレットは、法学部が付属生のために作成したのだという。ぜひ一読を。



2号館の「法の女神」の前で

編集後記

『心を整える。』が百万部を突破するベストセラーとなった元サッカー日本代表の長谷部誠選手は、その著書の中で、日頃お世話になっている人々への感謝の気持ちを伝えることが、自分自身の成長にもつながる、と記している。この日のインタビューも終盤にさしかかる頃、牧田さんは本校教員の名前を一人ずつ挙げ、述懐する。3年時の担任だった田中先生には、日頃の生活態度や提出物など、厳しく指導された。「それでも今になって先生のありがたみが分かりました」。サッカー部顧問でもあり、放課後に数学を教えてくれた住谷先生や長沼先生には「あの時は本当に助かりました」。チームメイト、監督、スタッフなど、支えてくれる人がいるからこそ、自分はピッチに立っている、と感謝の心を持ち続ける長谷部選手に、サッカーが大好きな牧田さんを重ね合わせた。今後の益々の成長に期待したい。(時杉)